

【博士前期課程】

九州情報大学大学院では、[ディプロマ・ポリシー](#)に従って、次の判定基準に基づいて修士の学位審査を行い、適当と認められる者に対して、修士(経営情報学)の学位を授与する。

(審査体制)

学位論文の審査は、主査 1 名及び副査2名以上で構成される審査委員会が学位論文の「評価基準」に基づき合議制で評価を行う。審査委員会が修士学位相当と認めた場合に限り、判定大学院委員会に諮り学位の認定を行う。

(評価項目)

1. 研究テーマの意義と独自性

論文の問題設定が明確に示され、学術的あるいは社会的な意義ならびに独自性を有すると認められるか。

2. 先行研究の理解と提示

研究テーマに即した先行研究が適切に提示され、精確な読解や的確な評価が行われているか。また、論旨を展開するうえで首尾一貫して適切に言及されているか。

3. 研究方法の妥当性

設定したテーマの研究に際して、研究方法、理論、調査あるいは資料収集、実験、シミュレーション、試作・試行などが適切であり、それに則って具体的な分析・考察がなされているか。

4. 論証方法や結論の妥当性

問題設定から結論までが論理的に一貫した構成をなし、内容が高いレベルで維持されているか。

5. 論文の形式・体裁

論文の記述において、語句や文章表現の的確性、学位論文としての体裁、文献ならびに図表等の引用元の明確性が適切であるか。

6. 研究の口頭発表

審査および修士論文発表会において学術研究に相応しい研究発表を行い、質疑に対し論理的かつ明解に応答したか。

(評価基準)

上記 1～6 の評価項目すべてについて、修士学位論文として水準に達していると認められるものを学位相当と評価する。

【博士後期課程】

九州情報大学大学院では、[ディプロマ・ポリシー](#)に従って、次の判定基準に基づいて博士の学位審査を行い、適当と認められる者に対して、博士(経営情報学)の学位を授与する。

(審査体制)

学位論文の審査は、主査 1 名及び副査2名以上で構成される審査委員会が学位論文の「評価基準」に基づき合議制で評価を行う。審査委員会が博士学位相当と認めた場合に限り、判定大学院委員会に諮り学位の認定を行う。

(評価項目)

1. 研究テーマの意義と独自性

論文の問題設定が明確に示され、学術的あるいは社会的な意義を有すると認められるか。理論的または実証的な見地から、当該研究領域において独自の価値を有するものとなっているか。

2. 先行研究の理解と提示

研究テーマ即した先行研究が適切に提示され、精確な読解や的確な評価が行われているか。また、論旨を展開するうえで首尾一貫して適切に言及されているか。

3. 研究方法の妥当性

設定したテーマの研究に際して、研究方法、理論、調査あるいは資料収集、実験、シミュレーション、試作・試行などが適切であり、それに則って具体的な分析・考察がなされているか。

4. 論証方法や結論の妥当性と意義

問題設定から結論までが論理的に一貫した構成をなし、内容が高いレベルで維持されているか。これまでの自身の研究との関連性が担保されているか。

5. 論文の形式・体裁

論文の記述において、語句や文章表現の的確性、学位論文としての体裁、文献ならびに図表等の引用元の明確性が適切であるか。

6. 研究の口頭発表

審査および博士論文発表会において学術研究に相応しい研究発表を行い、質疑に対し論理的かつ明解に応答したか。

(評価基準)

上記 1～6 の評価項目すべてについて、博士学位論文として水準に達していると認められるものを学位相当と評価する。